

## 平成 19 年度第 1 回(通算 121 回)技術情報交換会のご案内

平成 19 年度第 1 回技術情報交換会では、(1)艦船など大型複合材構造を想定した炭素繊維複合材料の損傷許容性と長期耐久性に関する最新の研究成果の説明、(2)本田技研の炭素繊維複合材料への取り組み概要の紹介、(3)文部科学省から宇宙、海洋分野での国家規模の研究開発プロジェクトの紹介、(4)SAMPE2007/JEC の概要報告を通して日本、米国、欧州の当該事業分野への取り組みの現状と今後の進むべき方向などについてのパネルディスカッション、を取り上げました。

今回は各講演の内容が多岐に亘っておりますが、いずれも会員の皆様にとって大変興味と関心の高い講演だと思しますので、是非この機会にお誘い合せの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 記

日 時：平成 19 年 7 月 26 日 14:30～17:30～19:00

会 場：湘南工科大学 東京キャンパス（糸山タワー7階会議室）

参加費：正会員・賛助会員：8,000 円、学生会員：4,000 円、非会員：11,000 円

参加費は参加申込時に『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普通)1276101、口座名義：先端材料技術協会』に振込料自己負担にてお振込下さい。

参加申込：別添の申込用ファックス用紙に必要事項をご記入の上、協会事務局宛に送信下さい。

定員は 80 名ですのでご確認は下記の協会事務局にお願い致します。

Tel:0467-24-2721, Fax:0467-24-2735, E-mail:sampejp@fsinet.or.jp

### 【プログラム】

14:30~14:33 例会委員長挨拶 (株)ジーエイチクラフト代表取締役 木村 學

14:33~15:15 『複合材料の損傷データベースと耐久性設計(ONR 研究の今後の展開)』  
金沢工業大学教授 金原 勲様

ONR 研究助成により行った炭素繊維複合材料の損傷許容性と長期耐久性に関する研究を通して、新しい繊維基材と成形法の組合せにより生じる信頼性評価の問題点、特に複合材料の損傷データベースを構築する必要性と今後の展開について説明する。

- 15:15~16:00 『本田技術研究所におけるCF系複合材料への取り組み、自動車レースにおけるCFRP構造の現状とこれから』  
(株)本田技術研究所 開発推進ブロック 完成車試作G 清本 弘様  
本田技術研究所がこれまでに実施してきたCF系複合材料への取り組み内容の概要と今後の展開について紹介する。
- 16:00~16:45 『我が国における宇宙、海洋開発の現状と展望』  
文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当) 板谷 憲次様  
ロケットや人工衛星の開発、海底探査や南極観測など宇宙、海洋等の分野での国家規模の研究開発プロジェクトの現状と展望を紹介する。
- 16:45~17:30 『SAMPE 2007, Baltimore 参加者によるパネルディスカッション』  
SAMPE2007に参加された会員代表によるパネル形式の報告会ですが、当該事業分野への取り組み方が米国、欧州と日本ではどのように違うか、SAMPE Japanとしてどのような方向を目指すか、などについても議論を進め、皆様のご意見を伺いたいと思っております。
- 17:30~19:00 懇親会  
講師の方々を交えての参加者相互の情報交流の場として有効にご活用下さい。費用は参加費に含まれております。

以上

# 先端材料技術協会宛(Fax:0467-24-2735)

平成 19 年 7 月 日

平成 19 年度第 1 回技術情報交換会に参加申込を致します。

所属先： \_\_\_\_\_

連絡先： 〒 \_\_\_\_\_  
(Tel: \_\_\_\_\_ Fax: \_\_\_\_\_)

お名前： \_\_\_\_\_

領収書発行の都合上、下記の該当項目について必ずチェックをお願いします。

- (1) 正会員・賛助会員 学生会員 非会員
- (2) 銀行振込 当日現金支払

## 【会場へのご案内】

JR 品川駅西口で京浜急行に乗り換え、一駅目の「泉岳寺駅」で下車し、  
第一京浜国道を田町方面に向かい徒歩で約 5 分

JR 田町駅からは第一京浜国道を品川駅方面に向かい徒歩で約 10 分  
都営浅草線、三田線「三田駅」より徒歩で約 10 分

